

ALLwatch Tips

2011 年 4 月号
オムロンソフトウェア株式会社

「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

「FOMA 機器設置時の注意点」

DoPa 停波に伴い FOMA 機への切替を行われることも多くなると思いますので、今回は Foma 機器の設置という切り口で注意すべき点をいくつかご説明いたします。

I. FOMA 機器の設置

オムロン製の機器は内部に FOMA の通信機とアンテナを内蔵しています。

FOMA では主として 2GHz 帯の周波数を使用しているため従来の DoPa 機(800MHz 帯)と交換する時に若干の注意が必要です。

- (1) 波長が短い為にコンクリートの建物の蔭では電波が弱くなります。都市部では基地局が多いので、設置の自由度はあるのですが山間部、海岸部では取付位置が限られてきます。(海岸部では基地局が山の方に設置されることが多いので機器を建屋の海側に設置すると通信不良になることがあります。)
- (2) 電波の状態は 1/4 波長毎に強い、弱いを繰り返します。FOMA の電波の波長は約 15cm です、1/4 波長は 3.3cm となります。設置位置を上下左右に動かして電波強度の強いところを探して下さい。
- (3) 地下室などで電波が弱い場合は携帯電話で電波強度の指示が 3 を示していても通信不良が発生することがあります。携帯電話は手に持っているため人体の影響で電波が強くなり指示されます。弊社端末を設置した後電波強度を確認する時は 2m 以上離れて指示ランプを確認する、或いはテストスイッチを長押し(3 秒位)すると 30 秒後にメールが送られますので、この間に変電室の外に出て扉を閉めメールが来るのを確認してください。

II. 外部アンテナの設置

- (1) DoPa 機で使用していた外部アンテナは使用できません。FOMA 用のアンテナを用意下さい。
- (2) FOMA 機の内蔵アンテナは DoPa 機の内蔵アンテナに比べると高性能です、FOMA では周波数が高いので同軸ケーブルの損失が多くなります。従って外部アンテナを使用する場合は出来る限り電波状態の良い場所にアンテナを設置して下さい。本体の近くにアンテナを置くとケーブルの損失で却って状態が悪くなる場合があります。
- (3) 都市部のビル地下の場合 2F までアンテナを延長できればほとんどの場合問題なく通信が可能になります。

なおアンテナの延長に関する資料もありますので、必要とされる方は、弊社営業までお申し付けください。

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。



0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30~17:30 (12:15~13:00 を除く))